

時代の変化に機動的・柔軟に対応する行政について

内閣官房 行政改革推進本部事務局

従来の行政改革思考からの転換

- これまでの**行政改革は、組織を再編したり無駄を排斥することを主眼としてきた。**
- 社会が複雑化し、行政への要請は多様化する一方、財政も人材も増加が見込めない。
- **組織全体の生産性向上・省力化推進に対応した新しい時代にふさわしい行政の姿を考えるにあたっては、EBPMやデジタル・AIの活用は不可欠。**



新たな行政改革へのアプローチ

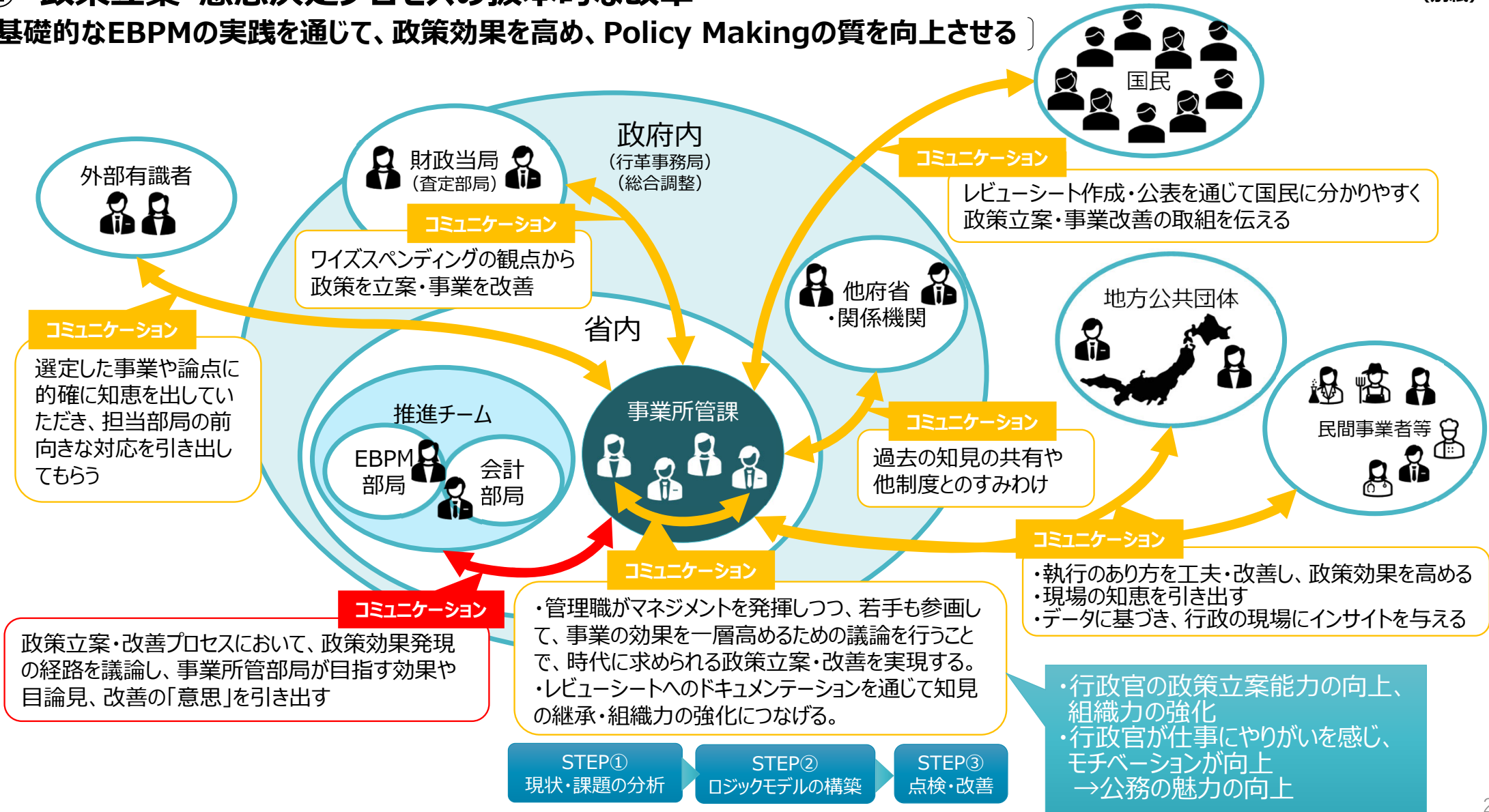
基礎的なEBPMの実践を通じて、政策効果を高め、Policy Makingの質を向上させる。

- ① 政策立案・意思決定プロセスの抜本的な改革 → **EBPMの推進**
- ② DX・AIによる行政機能の高度化 → **RSシステムの機能改善・AIの活用**

公務の魅力を高め、人材の確保・働き方改革にも寄与。

① 政策立案・意思決定プロセスの抜本的な改革

〔基礎的なEBPMの実践を通じて、政策効果を高め、Policy Makingの質を向上させる〕



② DX・AIによる行政機能の高度化

〔基礎的なEBPMの実践を通じて、政策効果を高め、Policy Makingの質を向上させる〕

